

ロッキー (Rocky)

観賞日 2024年11月25日 上映時間 119分

【概要】

制作 1976年 アメリカ

監督 ジョン・G・アヴィルドセン

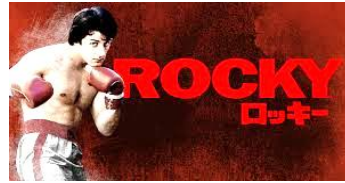
脚本 シルヴェスター・スタローン

音楽 ビル・コンティ

撮影 ジェームズ・グレイブ

出演 シルヴェスター・スタローン (ロッキー・バルボア)

タリア・シャイア (エイドリアン)、バート・ヤング (ポーリー)



【あらすじ】

1975年、フィラデルフィア。30歳になってもまだ場末の三流ボクサーに甘んじているロッキー・バルボア。不本意ながら高利貸しの借金取立てをして生活をしている。そんなロッキーの唯一の楽しみが友人のポーリーの妹でペットショップに勤めるエイドリアンに会うこと。ある時、ボクシング世界ヘビー級タイトルマッチの挑戦者グリーンが試合間近に負傷して試合ができなくなる。上位ランク者は準備期間不足で、チャンピオンのアポロは急遽、無名ボクサーと対戦することに。チャンピオンが選んだ挑戦者はなんとイタリアの種馬の異名をとるロッキーであった。たとえ棚ぼたであっても、生涯一度のチャンスを得たロッキーは愛するエイドリアンのためにも生活態度を改めて頑張る。酒もたばこも断ってストイックにトレーニングに励むロッキー。スタッフも揃って、いざ迎える本番の朝。試合開始のゴングが鳴り、壮絶な打ち合いは最終ラウンドを迎える。果たして勝ったのは……。試合終了後にロッキーが発した言葉は……。

観る者に夢と勇気と感動を与えるスポーツ映画の決定版。ロッキー同様にくず男であったスタローンを一躍スターダムに押し上げた名作。

【解説】

■ポイント

●シルヴェスター・スタローン (1946年～)

- ・ニューヨーク生まれの映画監督、脚本家、アクションスター
- ・本作で一躍、脚本家、アクションスターとしてブレイク
- ・1982年の「ランボー」で再び大ヒット (シリーズ化)
- ・肉体派スターとして、アーノルド・シュワルツェネッガーと比較されるが二人は親友でもある。

●受賞 (1977年第49回アカデミー賞)

9部門にノミネートされ、3部門で受賞 (作品賞・監督賞・編集賞)

●シリーズ化 (1976年～2006年)

6作品が作られる

■見どころ

●トレーニング中の有名シーン

- ・早朝トレーニングでフィラデルフィア美術館階段を駆け上がるロッキー。
- ・生卵5個を一気飲みし、精肉工場の冷凍庫でサンドバッグ代わりに生肉を殴るロッキー。

●ビル・コンティ作曲のテーマ曲

